

寇罪

公爵令嬢は

醜い廃嫡予定王子と

悪心に堕ちる

— 成人向け —
R18
ADULT ONLY
18歳未満
購入・閲覧禁止



シルヴィア
ラインハルト!!

貴様は自分の妹の
可憐さに醜い嫉妬を抱き
裏で陰湿なイジメを行い!

しかも領民の税を
自分が僕の
婚約者になるための
賄賂に使っていた
そうだな!

そのような悪女は
我がの妻には
ふさわしくない!

よって貴様との婚約は
破棄にさせてもらおう!

何を言ってるの?
婚約の件は
殿下からの
求婚だったはず...

ご冗談が
すぎますよ
殿下?

それに私は
エリィに一度だって
イジメやいやがらせ
なんてした事もない

ラインハルト公爵家次女
エリィ・ラインハルト

ラインハルト公爵家長女
シルヴィア・ラインハルト

冗談ではない!
言い逃れなど
見苦しい!

アーレリア王国第二王子
ギルバート・フェーゲライン

ギッ

うる...

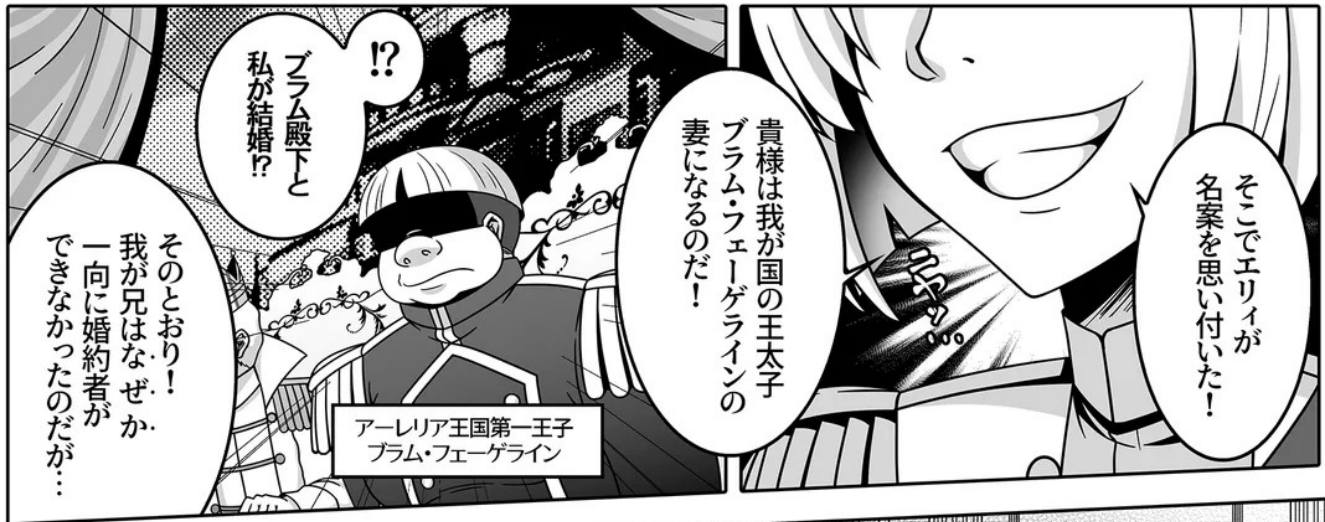


しかし貴様は腐っても公爵令嬢

ざわ

このまま普通に
婚約破棄をすると
王家と公爵家の間に
亀裂ができてしまう

それは僕も
両家も
望まない…



そこでエリイが
名案を思いついた!

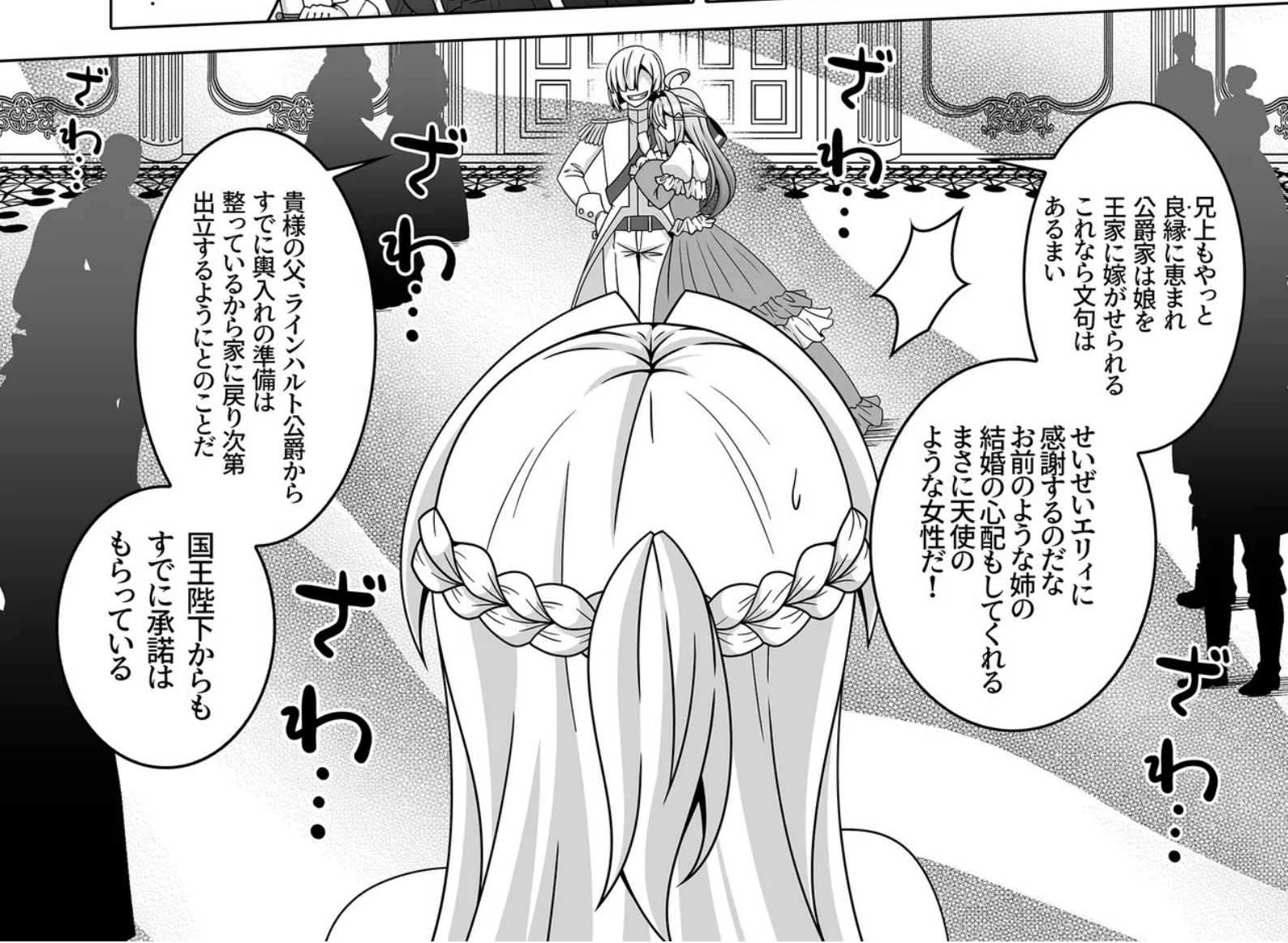
貴様は我が国の王太子
ブラム・フェーゲラインの
妻になるのだ!

!?

ブラム殿下と
私が結婚?!

そのとおり!
我が兄はなぜか
一向に婚約者が
できなかったのだが…

アーレリア王国第一王子
ブラム・フェーゲライン



兄上もやっと
良縁に恵まれ
公爵家は娘を
王家に嫁がせられる
これなら文句は
あるまい

せいぜいエリイに
感謝するのだな
お前のような姉の
結婚の心配もしてくる
まさに天使の
ような女性だ!

貴様の父、ラインハルト公爵から
すでに興入れの準備は
整っているから家に戻り次第
出立するようにとのことだ

国王陛下からも
すでに承諾は
もらっている

ざわ…

ざわ…

ざわ…

ざわ…



良かったですね
お姉様なら
きっと将来の王妃も
立派に勤まりますね

その娼婦のような
下品な体も
ブラム殿下なら
きっと気に入って
くださいます

なっ!?

わたくしも
イジメられた
過去の事は水に
流してお祝いを
申し上げますね

こんな悪女に
祝辞など…エリイは
何て慈悲深いんだ!

ワス…

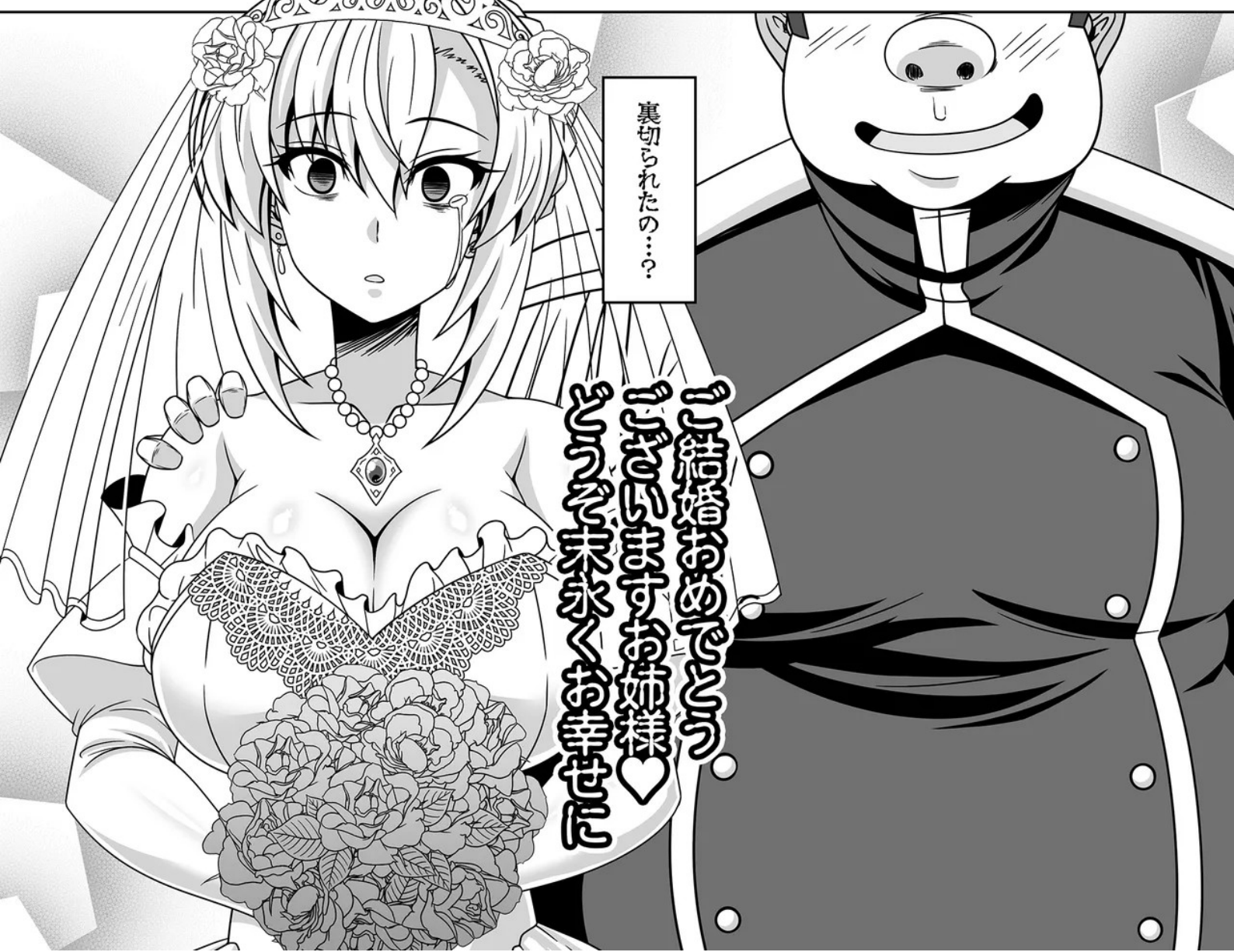


私は
婚約者に…

そして
妹に…

ゴーン

ゴーン



裏切られたの…?

結婚おめでとう
♪♪♪おめでとうございますお姉様♡
♪♪♪未来を幸せに

王城フルクベルク

城内
第一王子の寝室

本当に翌日には
結婚させられる
なんて…

しかも
怪しい魔術に手を出して
国王陛下の怒りを買う

近々廃嫡されると
噂の第一王子がお相手
なんて…実質追放ね

それにしても
こうもすんなり事が
進むなんて…

普段わがままな妹と
第二王子殿下にしては
用意周到…

おそらく普段から
領地経営に口をはさむ
私を嫌っていて
妹を溺愛していた
お父様の入れ知恵ね…

まあいまさらすべてが手遅れね…
さすがに処刑はないでしょうけど
私は廃嫡予定の第一王子と共に
処罰される悪役ってところかしら…

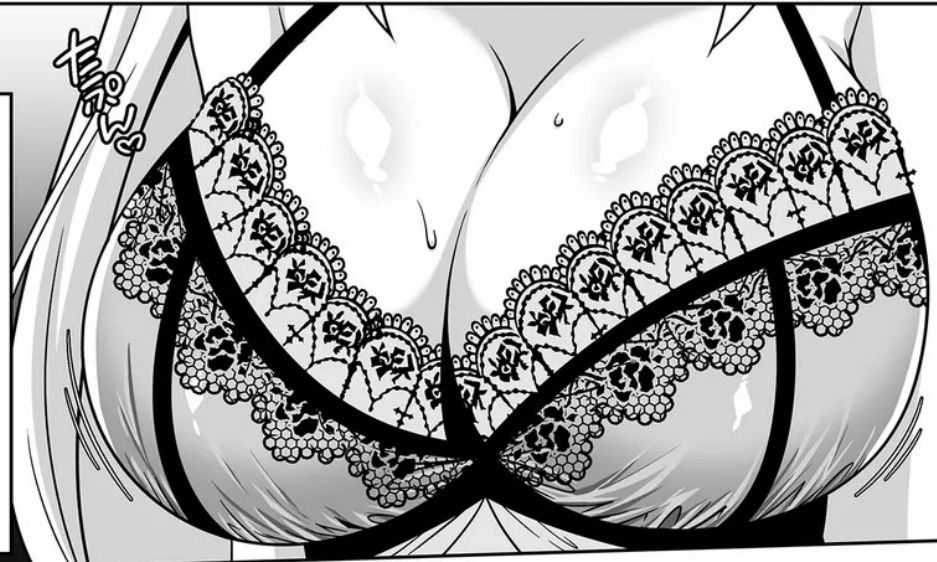
7/21

魔術の研究ばっかで
パーティーにほとんど
出席しなかったから
知らなかったけど



ギルト
あいつの婚約者が
こんなにイイ女
だったなんて

少し動けば
プリンのように揺れる
この暴力的なおっぱい



この体を下品と笑っていた
あのメスガキの貧相な体が
哀れに見えてくる

そして思わず
かぶりつきたくなるような
張りの大きい尻



これならボクの
世継ぎを何人でも
孕ませられる

艶やかな唇も
美味そうだ



もう無理
我慢できない！

こんな強引に
ファーストキスが
奪われるなんて…

子供の頃から
貴族として
望まぬ結婚は
覚悟していたけれど…

舌が強引に
口内に入ってきて
舐めまわされてる

なんて
いやらしくて
下品なキス

んんん!!

こや…

んっ

ザルルッ

ほっ

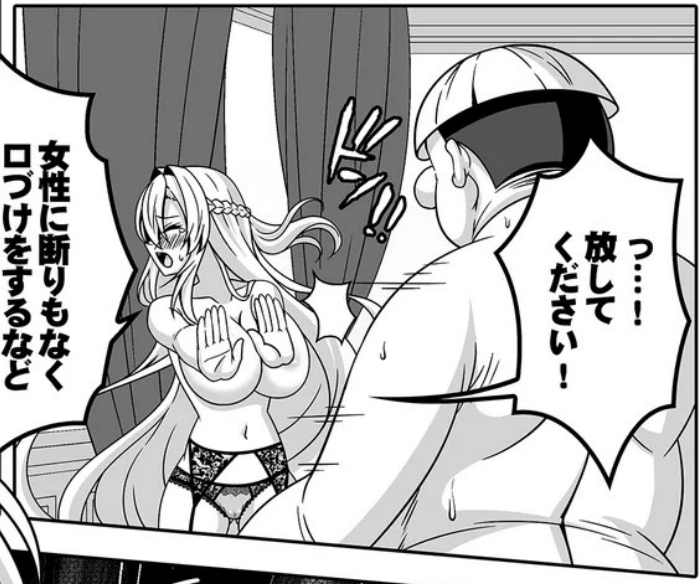
アッ…

んんん

んんん

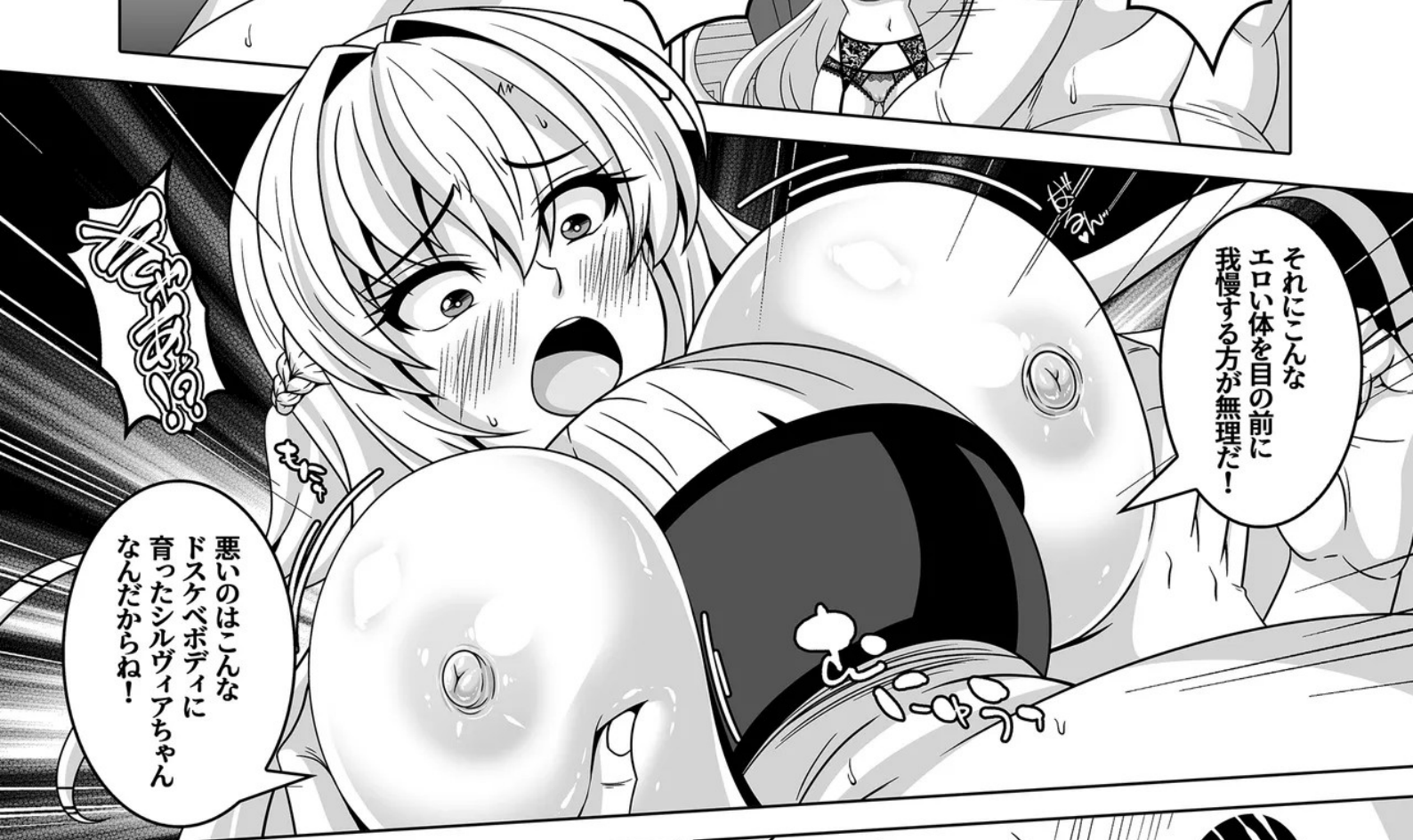


もう夫婦なんだから
いちいち許可なんて
いらないうだろ？



っ…！
放して
ください！

女性に断りもなく
口づけをするなど
最低です！



それにこんな
エロい体を目の前に
我慢する方が無理だ！

悪いのはこんな
ドスケベボディに
育ったシルヴィアちゃん
なんだからね！

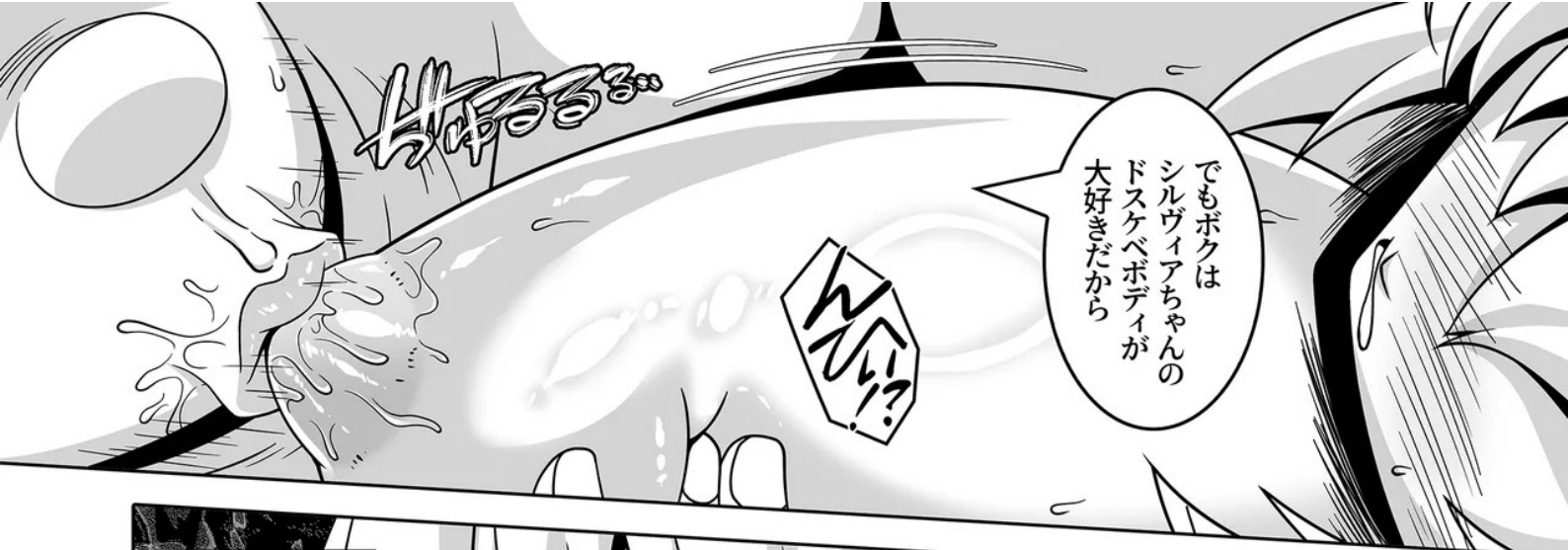


このぷっくりした
乳首も甘くて
美味しい

これを味あわない
弟は大バカ者だよ

まあ弟は昔から
胸の大きい女は
苦手だったからね

まさかそんな
理由で私は
嫌われてたの…



でもボクは
シルヴィアちゃんの
ドスケベボディが
大好きだから

おどろく??

んん!!



私の体はいつたい
どうなっているの??

こんな無理矢理
体を弄ばれてる
だけなのに
全身が痺れて…

もう…ダメツ!

んん…♡



乳首だけで潮を
吹けるなんて

まさにボクに
ふさわしい
ドスケベ淫乱妻だよ

あま♡

あま♡

んん♡



全身から力が
抜けていく…

これが絶頂…

こんな感覚
初めて…



へばるのはまだ早い
これからがボク達の
初夜本番なんだから

!?

なにあの
大きさ!?

性教育の本で
読んだのと
サイズも形も
全然違う!?



これだけ濡れてたら
ほぐさなくても
いいね?

お、お待ちください
そんな挿入るわけが…

ぬるる
♡



あれが…
本物の男性器?

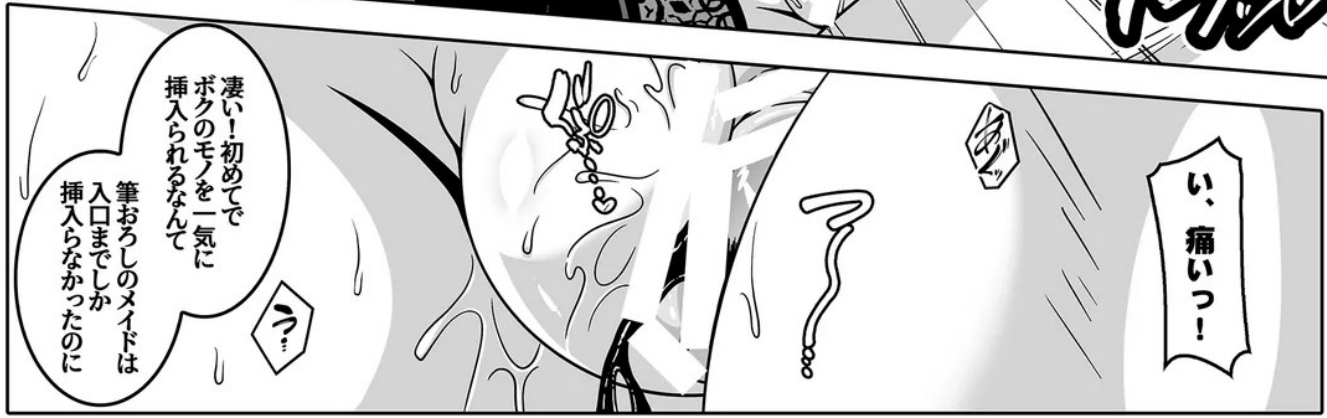


公爵令嬢の
初物マンコ
いただきまーす

ぐんぐん

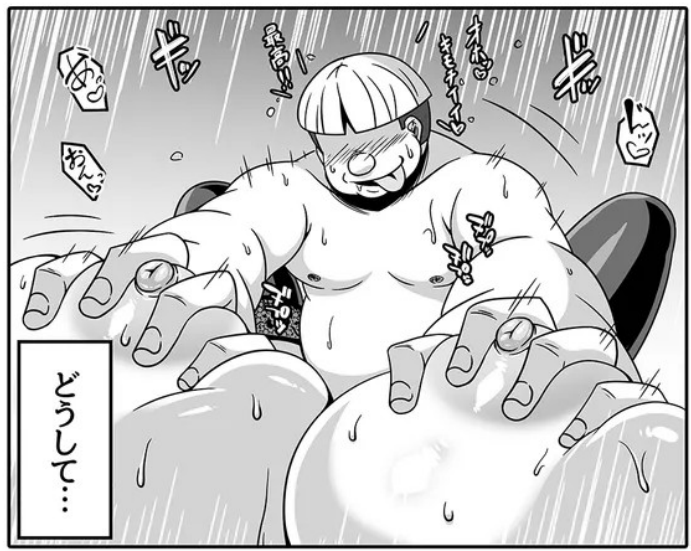
ぐんぐん

ぐんぐん

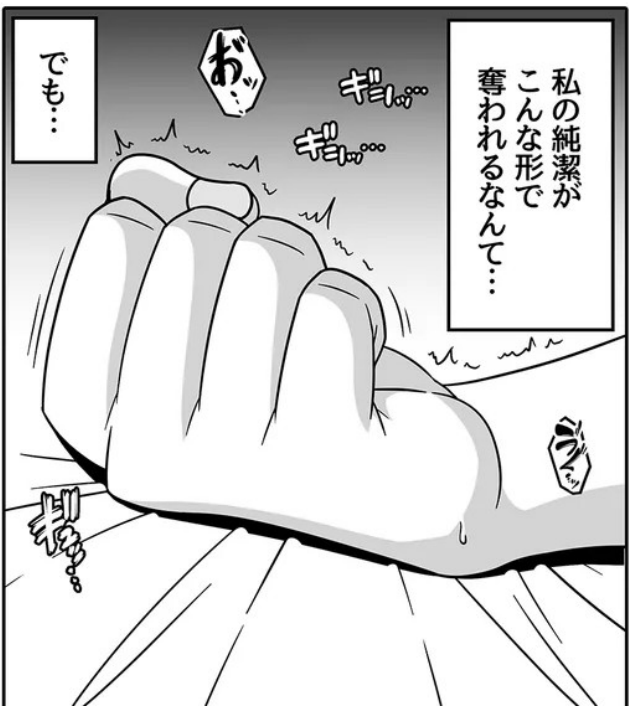


い、痛いっ!

凄！初めてで
ボクのモノを一気に
挿入されるなんて
筆おろしのメイドは
入口までしか
挿入らなかつたのに



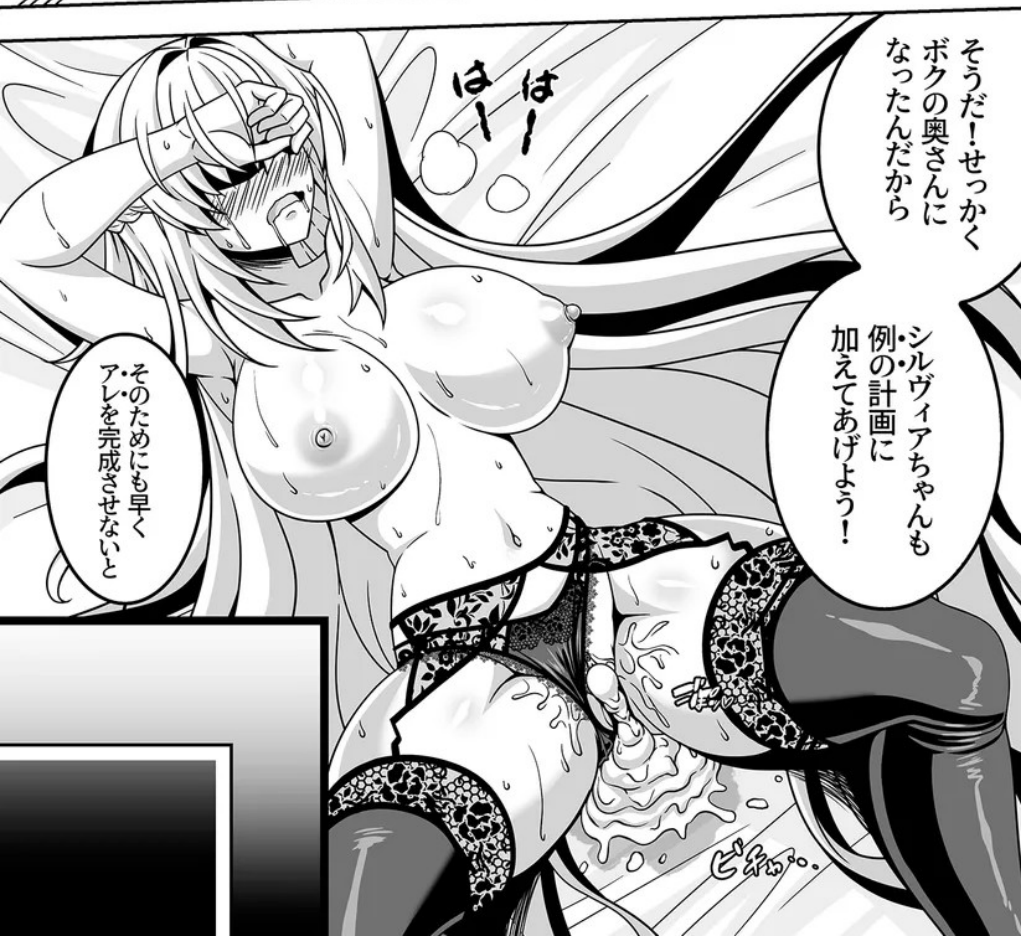
どうして…



私の純潔が
こんな形で
奪われるなんて…

でも…

私の中の貴族の矜持が
音を立てて壊れていく...



あれから数週間経って
自室と補佐の侍女を
付けてもらえたけれど…

お飾りの
第一王子妃だからか
公務も特にないし
することがない…

ただ毎日
プラム殿下の
お相手を
させられる日々…

かあ…
そういえば時々別室に
一日中籠ってたわね

その日は相手を
しなくて
済んだけど



それにしても
退屈ね…

あの
本を読みたいの
だけれど

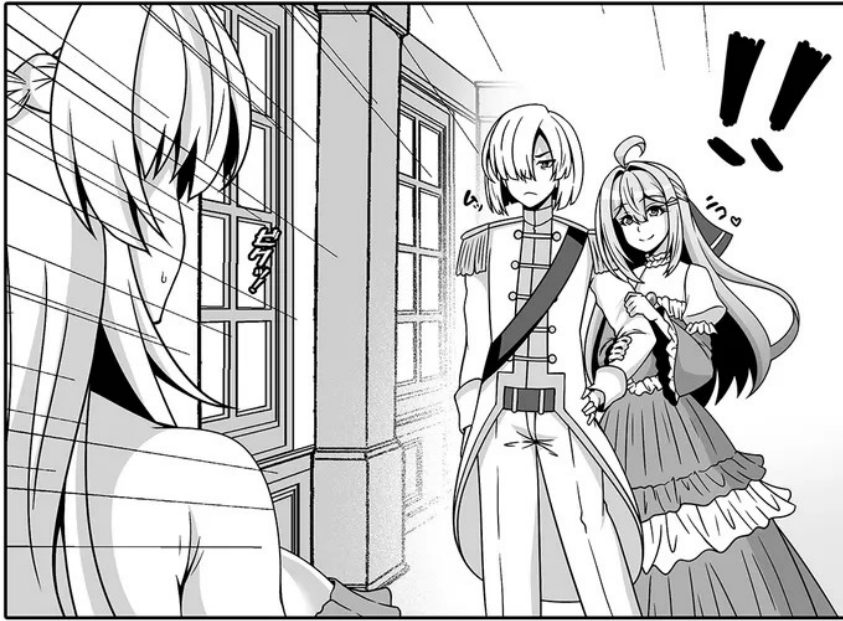
私は今忙しいので
一人で勝手に図書室に
行ってきてください

ギルバート殿下の
婚約者だった頃は
よくしてくれた
城の使用人達も

今では皆
私の事を
さげすむ

あれ見て
まきで牛のお乳が
毎日お盛んだから
さらに大きく
なったんじやない？

もうここに味方は
誰もいないのね…



あら？

お姉様じゃ
ありませんか？

ギルバート殿下に
エリイ、この度は
ご婚約おめでとうございます

嬉しい
ですわ♡

お姉様も
あの豚…

…失礼
ブラム殿下と
大変仲が
よろしいと
聞いています

ああそうそう
最近ブラム殿下の
寝室から
獣の鳴声があると
メイド達が話を
していましたか
いつからペットを
飼いだしたのです？

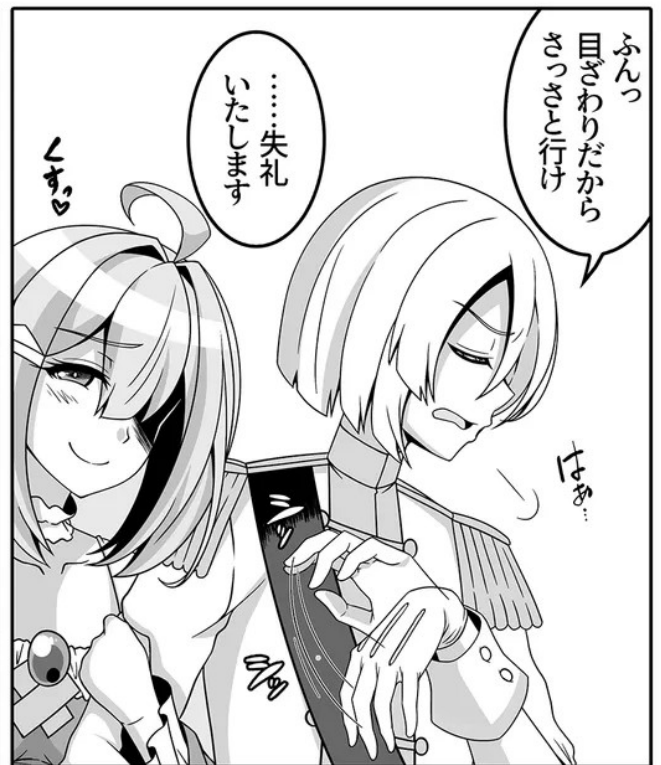
クス
クス



ああそういえば
愛しの旦那様が
お前を探していたぞ

早く行って
やるがいいぞ

こんな屈辱
一体いつまで……



ふんっ
目ざわりだから
さっさと行け

……失礼
いたします

はぁ…



何ですか
これは!?



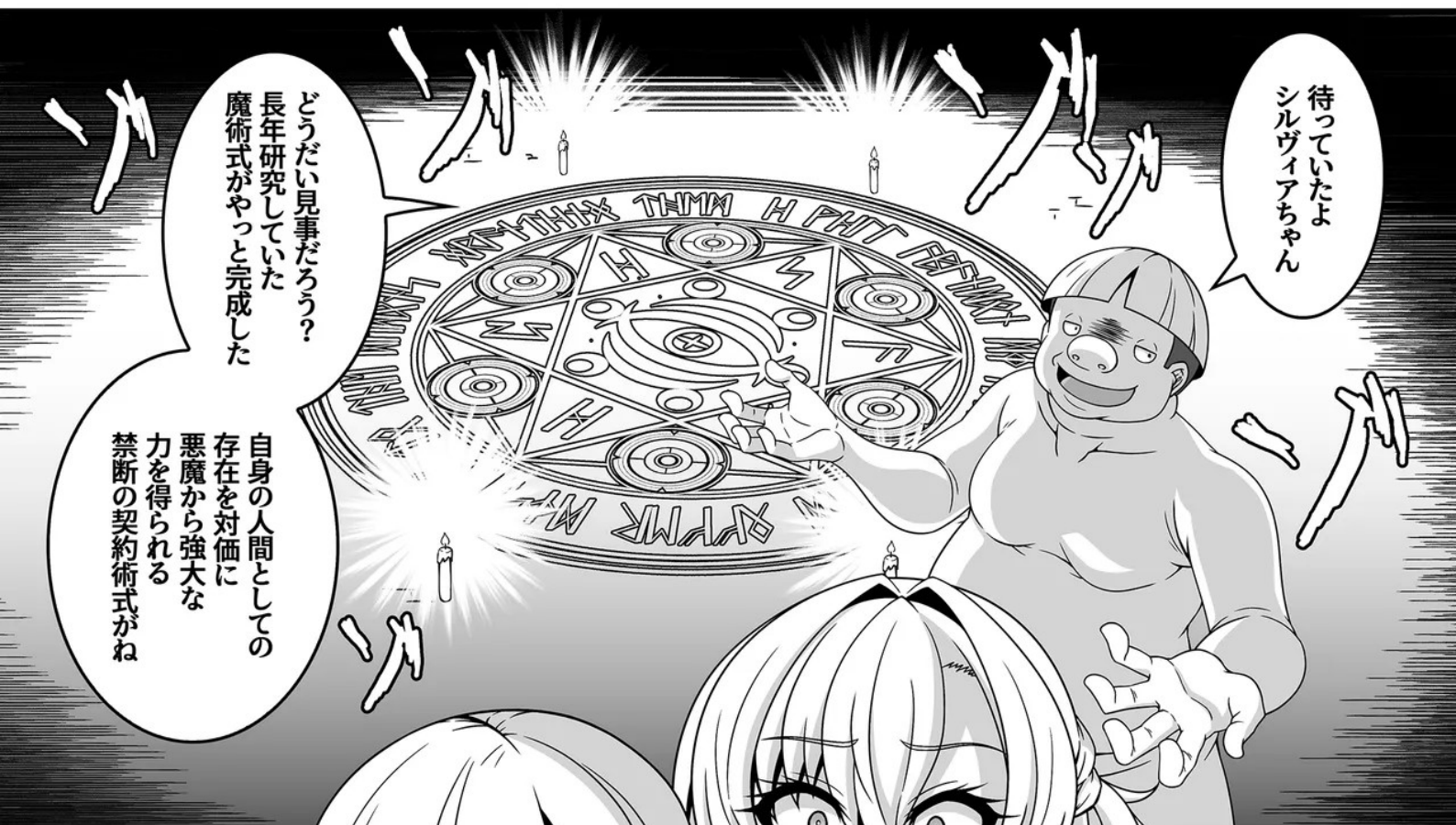
失礼します

お呼びでしょう
……っ!



たしかこの部屋は
ブラム殿下がよく
籠っている部屋?

普段は誰も
入室しては
ならない
はずなのに…



待っていたよ
シルヴィアちゃん

どうだい見事だろう?
長年研究していた
魔術式がやっと完成した

自身の人間としての
存在を対価に
悪魔から強大な
力を得られる
禁断の契約術式がね

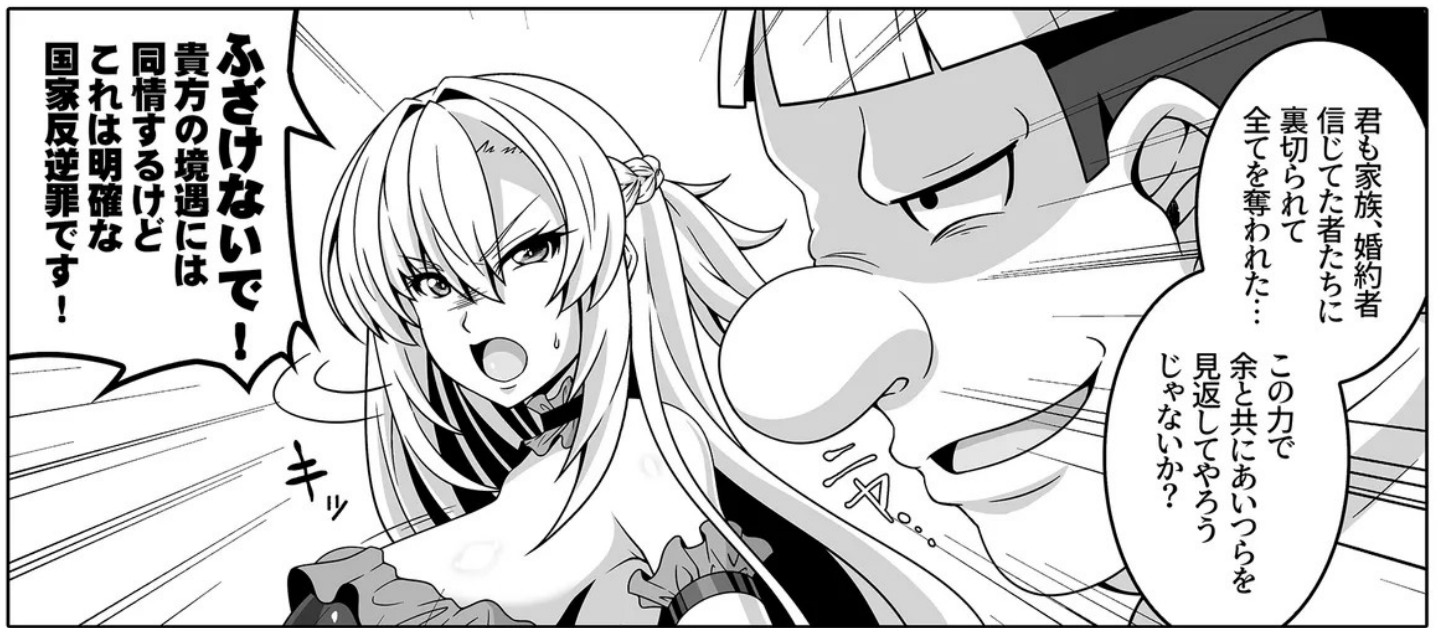


悪魔との契約!?
それはこの国…いえ
この世界最大の
禁忌なはず…

どうしてこんな
おぞましい
ものを!?

どうしてかって?
それはね……

ガキ





誰にも必要とされなくなつた私をこの方はこんなにも求めてくれている…

シッ



もう一人で頑張らなくていいんだ

全てが敵になつても余だけはずっと愛している

かパッ



ああ
そうか…

……
……

ん？



どうか私の事をシルヴィと呼びください♡

これからは私も殿下…いえ旦那様を生涯愛していきます♡

どこまでも共に堕ちていきましょ♡

私はただ誰かに愛されたかっただけなんだ…

おめでとう！

おめでとう！

おめでとう！



身も心も
ブルーム様で
染め上げて！



どうぞ私の
イヤらしい体を
お好きに
お使いください♡



これで君は
本当に
余の花嫁だ！



これが
本当の愛♡
私の幸せはこんなに
近くにあったのね…♡

今まで感じた
ことのない
幸福感が
全身を貫いて…
気持ちいい♡♡

体が……

あ……

ズンズン

ズンズン

ズンズン

あ……

溶けて……
く……♡



まるで生まれ
変わったみたい♡



は……

ズンズン

さあ、この力で
全てを蹂躞し
よう

ましよう♡

ズンズン

数時間後...

あーあーあー!!
痛!!
痛!!
痛!!



抜いてください
お腹が裂ける!!
夫と子供を残して
死にたくない!!



国王陛下!!



遅くなって
申し訳ありません
ブラム様♥

!?



ディアブル・オークキング
豚帝鬼の魔王
ブラム・フェーゲライン

おまんこに
おめだんじり
させたい!!



ずいぶん
手間取ったな
シルヴィ?



この男は異変を察して我先に逃げ出そうとしていたので護衛の兵士を皆殺しにしたら

醜く命乞いをしてきたので搾り殺しておきました♥

くぐぐぐ
最終にいい思いができたな父上?

お母さんお母さん
お母さんお母さん
お母さんお母さん

シルヴィア様...

今までの事は謝ります!
ですかどううかお助けください!

助ける? どうして?

プラム様のおかげで薄汚い人間をやめられるのには?

それに私達魔族と交わつてその淫紋が浮かんだらもう手遅れ...

これから貴女も勤勉で従順な真の我が国の国民になれるの

ご家族の元にも魔族化した城の者を向かわせたから

すぐに愛する家族にも再会できるわ♥

ネメシス・クインサキユバス
淫魔嬢の魔王妃
シルヴィア・ラインハルト





それより今は
シルヴィの舌技が
たまらなくてもう
イキそうだし

ハハハハ
口に射精しても
いいがシルヴィは
どこに欲しい？



お口もいいですが
やっぱり先ほごから
疼いてしょうがない

私のイヤらしい
おまんこ♡



いっぱい突いて
私の膣奥で射精して
ブラム様の赤ちゃんを
孕ませてください♡



望み通り余の子を
孕ませてやる！

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

ブラム様の
極太オーグチンポ
キタアツ♡



おチンポを
挿入たまま
おまんこべりべり
するのは
ズルいですっ♡



赤ちゃんの
お部屋コンコン
されるの好き♡



さすが余の
サキユバス嫁！
吸盤みたいに
吸い付いて
チンポを
放そうとしない

全くスケベな
メスマンコだ

そうしたのは
ブラム様では
ありませんか♡



おチンポも
イキそうなの
ですっ♡

ブラム様
ピストン
激しいです♡

私のおまんこも
共にイキます♡



では責任を
取らないとな！



なにか
おかしな
感じがする...

Gatcha

おかしな感じがする...

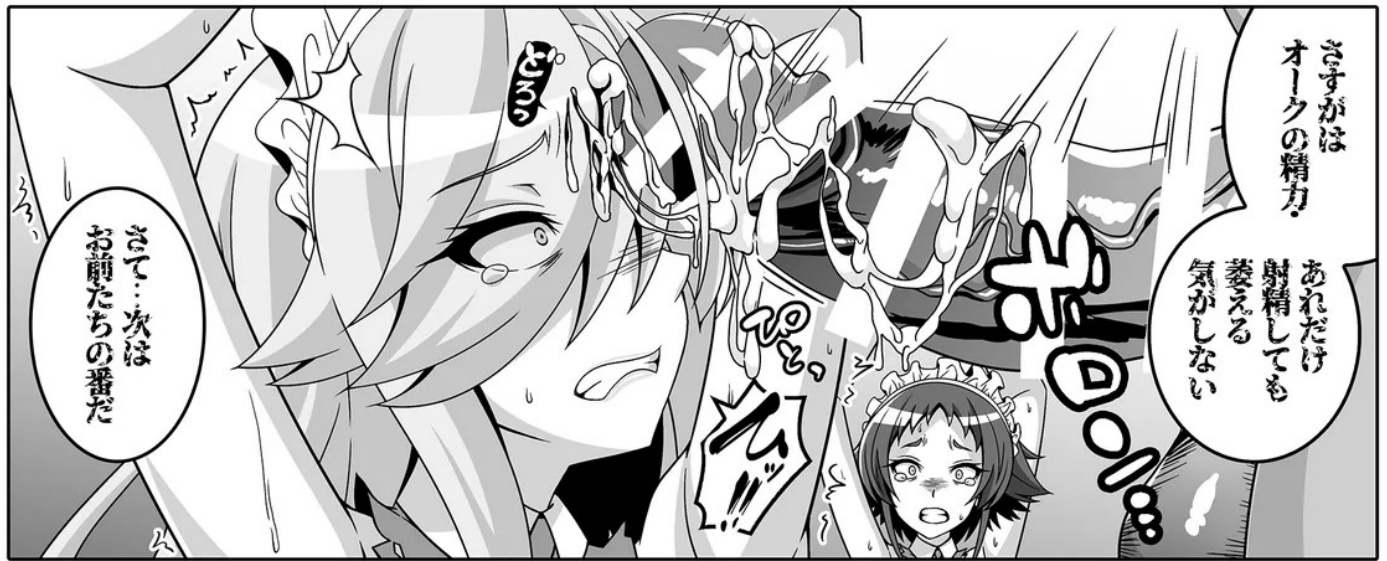
おかしな感じがする...



…ザーメン
いっぱい♡

お腹
暖かい♡

愛する旦那様の特濃ザーメンでお腹タップタップ…♡
なんて
幸せなの♡



さすがは
オークの精力
あれだけ
射精しても
萎える
気がしない

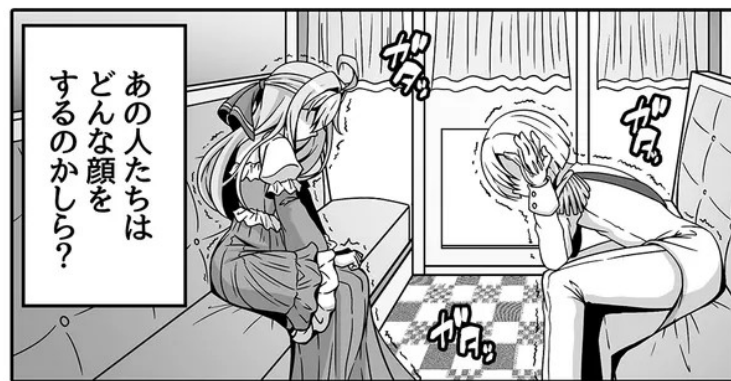
さて…次は
お前たちの番だ



完全に
壊れたら



私達を陥れてまで
欲しかった国が…



あの人たちは
どんな顔を
するのかしら？



うふふっ…
楽しみね♡

続く…？

あとがき

この度はこの本を手にとってくださりありがとうございます
初めてのオリジナル本制作となりましたがいかがだったでしょうか？

基本ファンタジーが好きなので勇者パーティーモノを描くか
貴族令嬢モノを描くかで悩みましたが、私が今ハマっている
悪役令嬢モノ的な感じにしようと思い今回の作品を制作しました。

いつも描いてるのと違い設定もキャラデザも全部自分で考えるのは
非常に悩みましたが完成してよかったです(*ω`*)
ただどうしても一話で登場人物全員を墮とすことできなかったため
少々中途半端に締めさせていただきました。

初のオリジナル本で需要がわかっていないので皆さんの反応を
見て、来年に続きを描くか決めさせていただきます。
それでは来年もよろしくお願ひしますm(_ _)m

伊智みりしゃ

奥付

発行日 2025年12月31日
印刷 ねこのしっぽ 様
発行 あつがり義勇軍/伊智みりしゃ
連絡先 militia.minpei1913@outlook.jp

X (旧Twitter)

Pixiv



あつかり
義勇軍

